

輝け！シン尾花沢中

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

前号では、入学式での新入生代表の言葉を紹介しました。

今号では、生徒会会長の大類鳳馬さんの在校生歓迎の言葉を紹介します。

在校生歓迎の言葉

3年 大類鳳馬さん

日差しの温かさに春を感じる季節となりました。新たな一步を踏み出す80名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。共にこれから学校生活を送ることを、心からうれしく思います。皆さんは、新しい出会いへの緊張と、中学校生活への期待を胸に門をくぐってきたと思っています。

2年前、私たちが一番に感じた小学校との違いは、人数の多さです。4つの小学校から集まった仲間たちとの出会いは、新鮮で刺激的でした。性格も、趣味も、得意なことも違う人と一緒に活動することを通して、成長できたことがたくさんあります。尾花沢中学校は、個性的な一人ひとりが自分の良さを生かして活動できる学校です。皆さんも、失敗を恐れずいろいろなことに挑戦して、できることをたくさん見つけてください。

さて、中学校生活の特徴を3つお話します。

1つ目は、『勉強』です。中学校では専門の先生が、教科の内容を深く詳しく教えてください。授業時間も長くなりますが、自分でじっくり考えたり友達と相談したり、楽しく学ぶことができます。定期テストでは、達成目標を決めてテスト勉強に取り組みます。クラスメートと励まし合いながらの勉強は、普段より集中できる気がします。

2つ目は、『生徒会活動』です。学校生活を支える日常活動や『読書祭り』『クラスマッチ』『募金活動』など、委員会独自の取り組みを通して、自分たちで組織を維持することや企画を運営することを学んでいます。執行部では、元気な『挨拶』が響きわたる明るい学校を目指して『あいさつ輝き隊』の活動を行っています。皆さんも、ぜひ参加してください。

3つ目は、『部活動』です。尾花沢中学校には、冬季のスキー部を含めて10の部活動があります。昨年度から任意加入になりましたが、部活動でしか味わえないことがたくさんあります。先輩に学ぶ緊張と認められる喜び、同級生との切磋琢磨、負ける悔しさ、苦しさを乗り越えた達成感、後輩を指導する責任の重さ、受け継いでいく思いの大切さ…。同じ目標に向かうからこそ、性格や考えの違う人とも協力する方法を工夫できるし、学び合うことができます。本気で向き合った仲間との連帯感は、人生の宝物です。皆さんにも、3年間がんばれる部活動を見つけてほしいと思います。

中学校には、多くの新しい経験が待っています。戸惑いもあるかもしれませんが、皆さんのそばには先生方や私たちがいます。何でも質問して頼ってください。皆さんが中学校生活を最高の時間にできるよう全力でサポートします。一緒に最高の尾花沢中学校を作っていきましょう。

新入生の不安を消し去るようなあたたかいお話でした。

大類会長、ありがとうございました。

【文責：校長 工藤雅史】

